

尼崎市のまちづくりについての  
市民アンケート等調査結果  
(地域別)

# 1. 調査の概要

## 1) 市民アンケート

- ・調査対象：18歳以上の尼崎市民 ※ 年齢・地域を考慮した無作為抽出
- ・標本数：2,000票（到達1,976票、不達24票）
- ・調査方法：配布（郵送）、回収（郵送回収 又は WEB 回答）
- ・回収期間：令和4年7月上旬～9月末 ※ 9月に督促を1回実施
- ・回収数：492票（紙-273票（55.5%）、WEB-219票（44.5%））
- ・回収率：24.6%

### 【年齢別の回収状況】

	回収数	割合
10～20歳代	68	13.8%
30歳代	66	13.4%
40歳代	103	21.0%
50歳代	70	14.2%
60歳代	65	13.2%
70歳代	120	24.4%
全体	492	100%

### 【地域別の回収状況】

	回収数	割合
阪急沿線地域	260	52.8%
JR沿線地域	143	29.1%
阪神沿線地域	89	18.1%
全体	492	100%



## 2) 事業者アンケート

- ・調査対象：尼崎市に立地する事業所（工業・商業）
- ・標本数：1,000票（到達992票、不達8票）
- ・調査方法：配布（郵送）、回収（郵送回収 又は WEB 回答）
- ・回収期間：令和4年7月上旬～9月末 ※ 8月に関係団体へ協力を依頼
- ・回収数：248票（紙-191票（77.0%）、WEB-57票（23.0%））
- ・回収率：24.8%

## 2. 主な調査結果

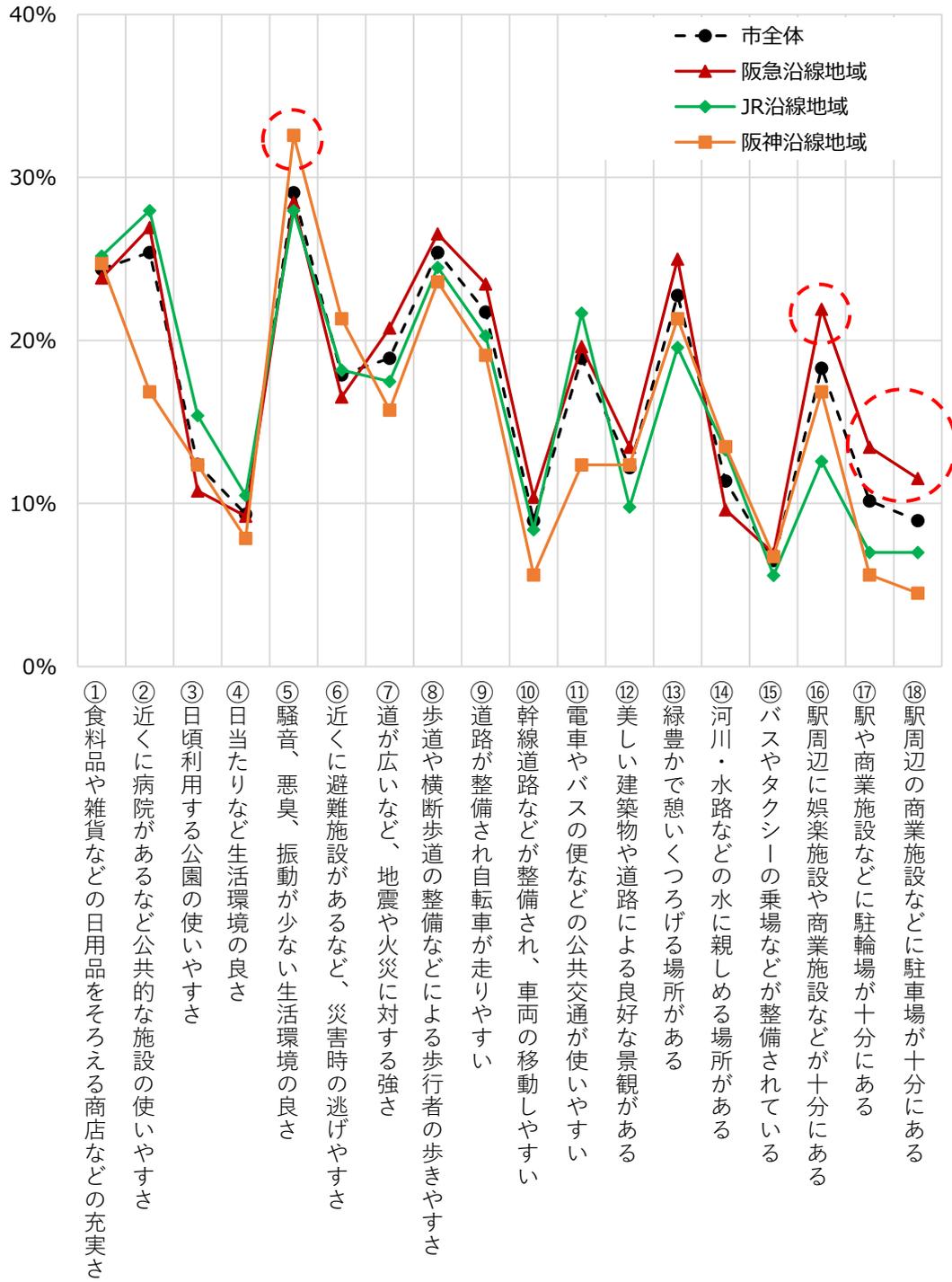
### 1) 市民アンケート

#### ● 市がまちづくりで優先すべき項目×地域区分 [複数回答]

市がまちづくりで優先すべき項目について地域区分別で比較すると、阪神沿線地域では「⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ」が32.6%で全体と比較してやや高い。また、阪急沿線地域では、「⑩駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある」が21.9%、「⑩駅や商業施設などに駐輪場が十分にある」が13.5%、「⑩駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある」が8.9%でいずれも全体の水準より高く、駅周辺の整備・利便性向上の優先度がより高いといえる。

項目			阪急沿線地域 [n=260]		JR沿線地域 [n=143]		阪神沿線地域 [n=89]		市全体 [n=492]	
			件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
住みやすさ	①	食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	62	23.8	36	25.2	22	24.7	120	24.4
	②	近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	70	26.9	40	28.0	15	16.9	125	25.4
	③	日頃利用する公園の使いやすさ	28	10.8	22	15.4	11	12.4	61	12.4
	④	日当たりなど生活環境の良さ	24	9.2	15	10.5	7	7.9	46	9.3
	⑤	騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	74	28.5	40	28.0	29	32.6	143	29.1
安全性	⑥	近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	43	16.5	26	18.2	19	21.3	88	17.9
	⑦	道が広いなど、地震や火災に対する強さ	54	20.8	25	17.5	14	15.7	93	18.9
	⑧	歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	69	26.5	35	24.5	21	23.6	125	25.4
交通	⑨	道路が整備され自転車が走りやすい	61	23.5	29	20.3	17	19.1	107	21.7
	⑩	幹線道路などが整備され、車両の移動しやすい	27	10.4	12	8.4	5	5.6	44	8.9
	⑪	電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	51	19.6	31	21.7	11	12.4	93	18.9
ゆとり・うるおい	⑫	美しい建築物や道路による良好な景観がある	35	13.5	14	9.8	11	12.4	60	12.2
	⑬	緑豊かで憩いやすがる場所がある	65	25.0	28	19.6	19	21.3	112	22.8
	⑭	河川・水路などの水に親しめる場所がある	25	9.6	19	13.3	12	13.5	56	11.4
最寄り駅について	⑮	バスやタクシーの乗場などが整備されている	18	6.9	8	5.6	6	6.7	32	6.5
	⑯	駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	57	21.9	18	12.6	15	16.9	90	18.3
	⑰	駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	35	13.5	10	7.0	5	5.6	50	10.2
	⑱	駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	30	11.5	10	7.0	4	4.5	44	8.9

【まちづくりで優先すべき項目×地域区分】



## (2) 事業者アンケート

### ●事業を営む上での問題点×地域区分 [複数回答]

事業を営む上での問題点について地域区分別で比較すると、臨海地域をみると「駐車スペースの不足」が34.4%、「幹線道路の渋滞や道路の道幅が狭いなどの交通上不便」が31.3%で、両方の項目で全体の水準より約10ポイント以上高く、交通上の課題が見える。また、南部の地域（阪神沿線地域、臨海地域）では「コンビニ等の利便施設の不足」がそれぞれ19.2%、21.9%で、北部・中部の地域（阪急沿線地域、JR沿線地域）と比較して割合が高い。さらに、阪神沿線地域については「空き店舗、倉庫の増加による商業地としての魅力の低減」が19.2%と多く、商業機能の弱さ・衰退が課題となっている。

項目	阪急沿線地域 [n=84]		JR沿線地域 [n=76]		阪神沿線地域 [n=52]		臨海地域 [n=32]		市全体 [n=248] (※)	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
周りが住宅地になり、事業しづらくなる	8	9.5	15	19.7	4	7.7	2	6.3	29	11.7
周りに建物が密集しており思うように事業を拡大できない	9	10.7	2	2.6	4	7.7	0	0.0	15	6.0
法令の規制で思うように事業できない	6	7.1	4	5.3	4	7.7	1	3.1	15	6.0
幹線道路の渋滞や道路の道幅が狭いなどの交通上不便	<b>16</b>	<b>19.0</b>	<b>15</b>	<b>19.7</b>	<b>10</b>	<b>19.2</b>	10	31.3	<b>51</b>	<b>20.6</b>
マイカー、自転車、歩行者が多く道路が使用しづらい	7	8.3	7	9.2	4	7.7	4	12.5	22	8.9
駐車スペースの不足	<b>16</b>	<b>19.0</b>	14	18.4	8	15.4	<b>11</b>	<b>34.4</b>	<b>49</b>	<b>19.8</b>
人口減少に伴う客足の減少	5	6.0	<u>3</u>	<u>3.9</u>	4	7.7	0	0.0	12	4.8
空き店舗、倉庫の増加による商業地としての魅力の低減	4	<u>4.8</u>	11	14.5	<b>10</b>	<b>19.2</b>	0	0.0	25	10.1
大型店舗の影響による客層・量の大きな変化	<u>4</u>	<u>4.8</u>	<u>3</u>	<u>3.9</u>	<u>1</u>	<u>1.9</u>	1	3.1	9	3.6
コンビニ等の利便施設の不足	<b>9</b>	10.7	4	5.3	<b>10</b>	<b>19.2</b>	7	21.9	30	12.1
特に問題はない	34	40.5	34	44.7	19	36.5	9	28.1	96	38.7
その他	3	3.6	2	2.6	0	0.0	4	12.5	9	3.6
不明・無回答	5	6.0	0	0.0	1	1.9	1	3.1	7	2.8
合計	84	100	76	100	52	100	32	100	244	100

※地域区分別集計値は全体より「地域区分不明」：4件を除く

- ・「特に問題はない」「その他」「不明・無回答」を除く項目について、地域区分ごと及び市全体における回答割合の最大値を**太字**で、最小値を下線で表記。

【事業を営む上での問題×地域区分】

